

正覚寺だより

スジャータ

44

平成21年(2009)

1月20日発行

〔スジャータとは、6年間の苦行に疲れたお釈迦様に牛乳で作ったお粥を供養したインドの女性の名前である〕

法然共生

平成23年は法然上人の800年大遠忌です

短期集中仏教講座

「五重相伝」満行

浄土宗平和アピール



平成20年11月3日 五重相伝満行記念

[住職のつぶやき]

てんぐ
天狗にならず
手を合わす



[住職のつぶやき]

てんぐ 天狗にならず 手を合わす

住職／山縣 正紀



(1)

赤信号で車を止めた。目の前の横断歩道を、檀家の若い奥さんが一人で横切っている。ルンルン気分なのかスクーターを押しながら、大きく口を開けて笑顔で歌いながら過ぎてゆく。声までは聞こえない。しかし、いくら何でも真っ昼間の街中で、若い女性が一人で歌いながら横断歩道に行くのは少々奇異に感じた。不審に思った。

「エエーッ！！なんで？」

「あんなノー天気な人だったかなあ？」

「それとも心の病気？」

失礼ながら、そんなことを思いながらその光景を眺めていた。

だが、渡りきってスクーターの影からスキップする女の子が見えた時、すべてを理解した。そして失礼な想像を心の中で詫びたのである。

(2)

幼稚園への迎えだったのだろうと思う。子供と歌いながら帰る、とても素敵なお母さんの姿である。そして反対側から見ていた人には、最初からそんな微笑ましい親子に見えたに違いない。

つまり一人の女性の行動も、見る角度によって全く違って見えるということだ。コップを真横から見れば四角に見えるが、真上から見れば丸く見える。色々な角度から見ないと本当の形は見えてこない。

(3)

一度もゾウを見たことのない3人に、目隠しをしてゾウに触れてもらう。そして、

「ゾウとはどんな動物ですか？」

と尋ねるとそれぞれ3人は、

「電柱のような太くて真っ直ぐな動物です」

「太いホースのような長い動物です」

「大きな団扇のような薄い動物です」

と答えたという。それぞれゾウの足、鼻、耳にだけ触って答えたことである。

無論これは例え話だが、私たちの日常にもこんな事があるのではないだろうか。

「知ったかぶりや、思いこみで話していないか」

「一方的な見方や、少ない情報でだけで判断していないか」

そうだとしたら、物事の本質を見失ってしまう。ゾウさんの本来の姿をわからずに語るのと同じように滑稽なことだ。

「常に多角的に」

「広い視野を持ち」

「人の立場にもなって考える」

そんな習慣を身につけないといけない。また好奇心や行動力も必要だろう。そしてそれは中々難しいことである。

(4)

特に年齢を重ねてくると尚更だ。人生経験が豊富で、多くを学び、主義や信念が確立してくる。今まで成し遂げてきた実績や自信もあるだろう。それはとても良いことだ。だが謙虚さを忘れ傲慢になればそれはみにく醜い。

自分は「愚かな凡夫である」という自覚が必要だ。本当に道を成した人ほど、
「自分の知識や経験の少なさ」
「未熟さ」
「罪の多さ」

などに気づくと思う。昔から良い言葉がある。

「実るほど頭を垂れる稲穂かな」

「下がるほど人の見上げる藤の花」

法然上人の遺言の結びは、

「智者のふるまいをせずして、ただ一向に念仏すべし」

であった。

「天狗にならず、手を合わす生活」

をしていこう。

「浄土宗平和アピール」

浄土宗は2001年、「愚者の自覚を、家庭にみ仏の光を、社会に慈しみを、世界に共生を」とする「21世紀劈頭宣言」を発表、世界平和について発言し、行動してきました。

しかしながら、本宗の近代において軍用機を陸海軍に献納するなど、様々な戦争協力的事实は否定することができません。これに対し、例えば1994年、浄土門主は『太平洋戦争五十回忌法要』表白において、戦役に助力した重責に対する懺悔、すべての戦没者の鎮魂・慰霊、世界平和への祈年を表明いたしました。

わたしたちは、そのころを受け、浄土宗が世法の国策に従いいかなる言動を行ってきたか、歴史的検証を行うことこそ、世界平和の実現に、あらためて必要なこと

だと確信します。

わたしたちは、自らの愚かさを自覚したうえで、戦争責任について自省し、アジア太平洋地域の人々の人権と尊厳を浸し、戦争による惨禍と多大なる犠牲を強いたことを、ここに深く懺悔します。

わたしたちは、法然上人の念仏の教えにより、再び同じ過ちを犯さないこと、すなわち被爆地広島において非戦・非核武装を誓い、未来に向かって慈しみにあふれた共生・平和の社会を創るために行動することを、ここに宣言します。

平成20年11月19日

浄土宗宗務総長

稲岡 康純

昨年11月19、20日の両日、浄土宗僧侶250人程が全国から広島に参集し平成20年度の、「浄土宗人権研修会」「差別戒名物故者の追善法要」「世界平和を願い念仏を称える会」が開催された。

その機会に「浄土宗平和アピール」が宣言されたので、ここに紹介いたします。



短期集中 仏教講座 五重相伝

○昨秋 11 月 3 日 54 名が満行された

浄土宗の教えを、分かりやすく順序だてて伝えるため 5 日間を要する大法要でした。参加者にとっては、修養の道場でもあり、身近なことを題材にした連続法話を聴くことが中心になります。

満行者には、数珠や袈裟とともに「生前戒名」を授与致します。

浄土宗ではこれが正しい戒名のつけ方です。この度は 6 回目の方が 1 人、5 回目の方が 3 人おられ正覚寺から記念品をお贈りし、その精進を称えました。

参加出来なかった方は、次の機会には是非参加して、教えを正しく受け取ってください。浄土宗檀家の方は、生涯に一度は参加すべき五重相伝です。



○次回は平成 25 年の予定です

五重相伝の開催は住職 1 人の力では出来ません。10 人余りの僧侶が自坊（住職をしている寺）を留守にして、正覚寺のために 6 日間泊まり込みで勤めて下さいます。また、備品を調達したりとかなり前々からの準備が必要です。

ですから開催する住職とその家族にとっても、心身共に試練の機会となります。これまで 5 年毎に開催出来たことに感謝し、今後も開催できるよう精進してまいります。

○すこしデータを紹介しましょう

全国の浄土宗寺院数	7,043 カ寺
五重相伝を過去 10 年間に開催した寺院	1,076 カ寺
五重相伝を 5 年以内に定期的に開催している寺院	74 カ寺

平成 20 年に行われた浄土宗宗勢調査（国の国勢調査のようなもの）によると、全国にある浄土宗寺院 7,043 カ寺の中で、過去 10 年間のうちに五重相伝を開催した寺院は 1,076 カ寺、つまり全体の約 16%です。5 年以内に定期的に開催している寺院は

74 カ寺、わずかに全体の 1%に過ぎません。

このデータから五重相伝を開催することが、相当大変なことであると理解して頂けるとおもいます。全国の浄土宗寺院で、もっともっと盛んに開催されることを願うと共に、正覚寺では、せっかく 5 年毎に開催しておりますので、檀家の方々には是非参加して頂きたいとおもいます。



春のお彼岸 | 3月20日(祝) ■ 朝10時より





たんじょうじ

誕生寺参拝のご案内 どうぞご参加下さい

4月21日(火)から1泊2日

法然上人のお生まれになった屋敷跡に建てられた寺を誕生寺といい、岡山県津山市の近く久米南町にあります。

今春、その誕生寺と法然上人ゆかりの本山寺に、お参りする旅を企画しました。一般の観光旅行とは一味違う参拝の旅ですが、決して固苦しい旅行ではありません。

旅程表を同封いたします。詳しくは正覚寺までお問い合わせください。

今年の行事予定

写経の会	毎月1日	13:30より
念仏の会	毎月14日	13:30より
春彼岸会	3月20日(祝)	10:00より
誕生寺参拝	4月21日(火)から	1泊2日
大掃除	6月1日(月)	9:00より
棚経法要	7月19日(日)	9:00より
盆施餓鬼会	8月15日(土)	9:00より
秋彼岸会	9月20日(日)	10:00より
十夜法要	11月15日(日)	10:00より

総本山知恩院 高齢者招待祝賀会

今年80歳を迎える方々、
どうぞご参加ください。

- ◆日時 平成21年4月18日(土)
- ◆場所 総本山知恩院
- ◆招待者 昭和4年生まれの方と
同伴者1名
- ◆申し込み 2月末日までに正覚寺へ
ご出席の方には詳しい案内状
をお送りします。尚、当日出席出
来なくても、申し込みの方には
記念品をお届けします。
- ◆その他 交通費は各自で
ご負担下さい。

五十回忌	三十七回忌	三十三回忌	二十七回忌	(二十五回忌)	二十三回忌	十七回忌	十三回忌	七回忌	三回忌	一周忌
昭和三十五年亡	昭和四十八年亡	昭和五十二年亡	昭和五十八年亡	昭和六十年亡	昭和六十二年亡	平成五年亡	平成九年亡	平成十五年亡	平成十九年亡	平成二十年亡

平成二十年の法事は左記の表の
様になります。参考にして各家の
位碑などを調べてください。

年回表

平成二十一年



発行所 / 〒737-0033 呉市寺本町 2-1 浄土宗 正覚寺
 でんわ / 0823-21-6086 Eメール / shoukaku@orange.ocn.ne.jp
 FAX / 0823-22-9922 郵便振替 / 01300-5-13754